

平成30年度 船形コロニー(各部署一覧) 福祉サービス評価(自己評価) 是正・改善結果

項目	自己評価		改善・是正計画	いつまでに	改善結果
	総合評価	改善項目 課題			
1 理念・基本方針 (1)	A-1 B- C- 項目数 1項目				
2 経営状況の把握 (2~3)	A-2 B- C- 項目数 2項目	設問3 【おおくら園:B】 年度での事業評価について一般職員への周知不足が見られる。	【おおくら園】 事業評価を全職員に周知する。	11月	【おおくら園】 事業評価を全職員に周知した。
3 事業計画の策定 (4~7)	A-3 B-1 C- 項目数 4項目	設問7 【なでくらセンター:B】 事業計画の内容の利用者への周知が不十分である。 設問7 【とがくら園:B】 事業計画の周知について、利用者・家族への周知不足が見られた。 設問7 【かまくら園:B】 事業計画策定における利用者の参加が不足している。 設問7 【事務管理センター】 事業計画の利用者への周知について不十分である。	【なでくらセンター】利用者個々の特性に見合った説明や掲示により周知していく。 【とがくら園】 自治会の開催時及び面会時において、利用者・家族に事業計画を説明し、周知する。 【かまくら園】 自治会集会時に、次年度事業計画にどのようなことを取り上げてほしいかを利用者へ聞き取りを実施する。 【事務管理センター】 利用者個々の特性に合った説明等をしていく。	11月	【なでくらセンター】 月1回実施の利用者の皆さんの意見や希望を聞く「利用者の声」の機会等に周知している。 【とがくら園】 利用者の自治会開催時や家族のふれあい面会日、誕生会開催時に説明を行った。 【かまくら園】 11月末の自治会集会時、聞き取りを実施したところさまざまな意見が出されたので、集約し、次年度計画作成時に反映させることとする。 【事務管理センター】 自治会開催時等に説明を行った。
4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組 (8~9)	A-2 B- C- 項目数 2項目				
5 施設長の責任とリーダーシップ (10~13)	A-4 B- C- 項目数 4項目				
6 福祉人材の確保・育成 (14~20)	A-4 B-3 C- 項目数 7項目	設問14.15 【おおくら園:B】 職員の欠員については速やかに補充出来ていない。また人事基準や総合的な仕組みづくりについては周知されていない。 設問13.14 【事務管理センター:B】 職員の欠員状態が続いている。 設問14.15.17 【なでくらセンター:B】 計画に基づいて、人材の確保や定着、研修等による育成が行われているが、欠員補充も含め不十分である。 設問14.15.17 【かまくら園:B】 人材育成において、職員一人ひとりの目標管理が不足している。	【おおくら園】 人材確保を所に要望していく。 【事務管理センター】 人員配置を要望していく。 【なでくらセンター】 法人本部と事業所が連携して、人材の確保や定着、育成、職員の配置等をより適正・適切なものにしていく。 【かまくら園】 職員個々の目標管理をするために聞き取りを行う。	11月	【おおくら園】 人材補充はされてませんが引き続き要望していく。 【事務管理センター】 人員配置を引き続き要望していく。 【なでくらセンター】 引き続き要望していく。 【かまくら園】 人事考課のフォローアップ時や人事ヒアリングの際に受けたい研修等についても聞き取りを行いました。よりの確な目標となるよう、引き続き職員個々と面談し人材育成につなげていきたい。
7 運営の透明性の確保 (21~22)	A-2 B- C- 項目数 2項目				
8 地域との交流、地域貢献 (23~27)	A-4 B-1 C- 項目数 5項目	設問23 【おおくら園:B】 社会資源に対するリスト化が十分ではない。	【おおくら園】 情報収集を行い、地図を作成し社会資源が活用できるよう掲示する。	11月	【おおくら園】 社会資源が活用できるよう写真等で分かりやすく地図を作成し掲示した。
9 利用者本位の福祉サービス (28~39)	A-12 B- C- 項目数 12項目	設問29.35 【かまくら園:B】 施設の構造上や障がい特性により利用者のプライバシーを守れないところがある。	【かまくら園】 居室の入り口窓にフィルムを張る等工夫する。	11月	【かまくら園】 11月中旬フィルムを貼りました。以前に比較しプライバシー保護となっています。
10 福祉サービスの質の確保 (40~45)	A-6 B- C- 項目数 6項目	設問42 【なでくらセンター:B】 個別支援計画書の作成に際し、サービス管理責任者と担当職員との間に意見の相違が見られることがある。	【なでくらセンター】 サービス管理責任者と担当職員とがよく話し合い、意見を調整する。	11月	【なでくらセンター】 継続して取り組んでいく。
11 利用者の尊重と権利擁護 (46~47)	A-2 B- C- 項目数 2項目				
12 生活支援 (48~60)	A-8 B-5 C- 項目数 13項目	設問49.51.55 57.58.59 【おおくら園:B】 コミュニケーション能力を高める支援や代弁者の協力については十分ではなかった。 設問48.49.58 59 【とがくら園:B】 地域生活への移行や地域生活の為の支援が十分ではありませんでした。 設問54.55.58 【かまくら園:B】 生活環境の工夫が必要。	【おおくら園】 コミュニケーションツールを使って支援を行う。意思決定支援についての研修等に参加する。 【とがくら園】 個別支援計画に基づき、様々な関係者と連携を図り、より良い手法を活用して支援を行う。 【かまくら園】 生活環境が特に殺風景な男子寮の雰囲気作りを行う。	11月	【おおくら園】 コミュニケーションツールを使って必要な利用者へ支援を行った。研修には参加できなかったが引き続き参加の方向で進めていく。 【とがくら園】 関係者との連携づくりを行ったが、時間を要することから継続して取り組みます。 【かまくら園】 少しずつ装飾を行う中で明るい雰囲気になってきたため、継続して取り組んでいきたい。
13 発達支援 (61)	非該当 項目数 1項目				
14 就労支援 (62~64)	A- B-3 C- 項目数 3項目	設問62.63.64 【おおくら園:B,C】 就労支援は行っているが就労までには至っていない。 設問62.63.64 【とがくら園:B,C】 簡単な作業は取り組んでいるが、就労支援までは行っていない。 設問62.63.64 【かまくら園:C】 就労の取り組みは行っていないが、日中活動の内容において工夫が必要。 設問.63.64 【なでくらセンター:C】 個別支援計画に基づく就労支援対象者はいないので就労活動等の取り組みは行っていない。	【おおくら園】 就労まで行えるのかを判断し支援していく。 【とがくら園】 就労まで希望するか改めて聞き取りを行って情報提供を行う。 【かまくら園】 利用者個々の能力に応じたメニューの模索。 【なでくらセンター】 就労支援の一環として、利用者個々の能力に応じた作業メニューを提供し、作業意欲の維持・向上に繋げていく。	11月	【おおくら園】 本人に就労の働きかけを行った結果やる気につながった。 【とがくら園】 情報提供や聞き取りを行なった結果、本人や家族からの希望や要望はなかったが、継続して就労に関する情報提供を行っていく。 【かまくら園】 外出等を行い、利用者個々がどのようなものに興味を示されるのかりサーチした。 【なでくらセンター】 作業メニューを工夫し、人間関係環境に配慮する等行ってきた。作業意欲の維持・向上に繋がっている。